

## 大阪梅田ツインタワーズ・ノース2階東西通路と阪急サン広場で 「冬のコンコース スペシャルARイベント」を実施します

大阪梅田ツインタワーズ・ノース2階東西通路では、阪急大阪梅田駅の歴史がAR写真でよみがえります



「大阪梅田駅 AR 写真展」(イメージ)

阪急阪神不動産株式会社では、11月22日(水)から12月25日(月)までの34日間、大阪梅田ツインタワーズ・ノース2階東西通路と阪急サン広場にて、「冬のコンコース スペシャルARイベント」を実施します。

本イベントは、阪急大阪梅田駅を現在の場所に移設してから、本年11月23日(木・祝)で50周年を迎えるのを記念し<sup>※1</sup>、大阪梅田駅の歴史をAR<sup>※2</sup>で振り返る「大阪梅田駅AR写真展」をはじめ、「色」をテーマにしたアート作品に出会える「想色ARt Gallery」や、阪急サン広場での「ARクリスマス装飾」もお楽しみいただけます。本イベントについては次のとおりです。

当社では、阪急阪神ホールディングスグループが策定・公表した「大阪梅田エリア」の価値向上に向けた構想「梅田ビジョン」<sup>※3</sup>の実現に向け、国際的な都市間競争を勝ち抜く大阪梅田ならではの独自価値「大阪梅田でしか体験できない新たな発見と感動が生まれる空間」を高めるため、本取組みを実施します。

※1 阪急電鉄による「開業50周年記念イベント」に関するリリースはこちら

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/release/docs/94beb36fb798b1b395c1db357487506b8adbba53.pdf>

※2 「Augmented Reality (アグメンティッド・リアリティ)」の頭文字をとった略語で、現実世界を立体的に読み取り仮想的に拡張する技術。アプリとスマートフォンを使って映像を表現することなどができる。

※3 「梅田ビジョン」に関するサイトはこちら <https://umeda-vision.hhp.co.jp/>

※本イベントは、MarbleXR 株式会社の AR/MR アプリケーション「mARble」による AR 体験イベントです。

## 「冬のコンコース スペシャルARイベント」について

### ■実施場所

大阪梅田ツインタワーズ・ノース 2階東西通路、  
阪急サン広場

### ■実施期間

11月22日（水）～12月25日（月）（34日間）

### ■開催時間

5：00～24：00

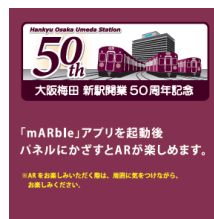
※夜間や雨天時など、照度環境等によりアプリが  
正常に動作しない可能性があります。

### ■実施コンテンツ

#### ①「大阪梅田駅AR写真展」（2階東西通路）

11月23日（木・祝）でJR東海道本線・JR大阪環状線の北側に移設してから、50周年を迎える現在の「大阪梅田駅」。移設される前の旧駅舎は、現在の大阪梅田ツインタワーズ・ノースがある場所にありました。

貴重な「大阪梅田駅」の歴史に出会える写真の数々をARでご覧いただけます。



#### ②「想色ARt Gallery」（2階東西通路）

全8色の中から気分に合わせて色を選ぶと、おすすめのアート作品をARでご紹介します。

なお、気に入った作品は、阪急阪神ホールディングスグループが運営するアートのプラットフォーム「ARTELIER（アトリエ）」上で購入・レンタルすることもできます。

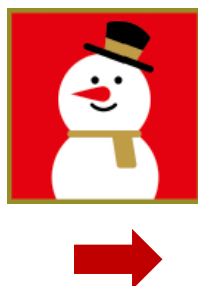
※掲出作品がイベント期間中に売り切れとなり購入できない場合がございます。



### ③ ARクリスマス装飾（阪急サン広場）

阪急サン広場に雪が降り、クリスマスツリーや雪だるまが登場します。

現実の煌びやかなイルミネーションとは異なるARならではの賑やかな様子をお楽しみください。



※画像はイメージです。

なお、①～③をご体験いただくには、AR/MRアプリ「mARble」のダウンロードが必要です。



■アプリをダウンロードいただき、アンケートにお答えいただいた方を対象に、抽選で50名さまへ賞品が当たるキャンペーンも合わせて実施します。

以 上

■本取組みは、梅田ビジョンに掲げる基本方針①・④の街づくりを目指しています。

### 【梅田ビジョン6つの基本方針】

国際的な都市間競争を勝ち抜くための “独自価値”	基本方針 ① 共創により新しい価値が生まれる街づくり
	基本方針 ② 出会いと交流を促進する街づくり
	基本方針 ③ 多様な人々と企業が集う活力ある街づくり
ニューノーマル時代の都市として必要な “基本価値”	基本方針 ④ 最先端の技術等を活用して新たな価値を提案する街づくり
	基本方針 ⑤ 持続可能な街づくり
都市の魅力を世界に向けて発信	基本方針 ⑥ 世界に向けた戦略的な情報発信

#### ■AR/MR アプリケーション「mARble」について

「mARble」は MarbleXR 株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役：木村 沙那 ダイアナ）が開発する「好き」を共有する AR/MR アプリケーションです。

MarbleXR は 2023 年 3 月に当社と一般社団法人日本スタートアップ支援協会が合同で開催したピッチコンテストである「第 3 回阪急阪神不動産事業共創 AWARD」において最優秀賞を受賞\*しており、これを契機に今回、同アプリを活用した取組みを実施するに至ったものです。

※「第 3 回阪急阪神不動産 事業共創 AWARD」に関するリリース

[https://www.hhp.co.jp/news/docs/2\\_2ixn2icue1ycco00sw0g48w4g.pdf](https://www.hhp.co.jp/news/docs/2_2ixn2icue1ycco00sw0g48w4g.pdf)



#### ■「ARTELIER (アトリエ)」について

安心して気軽にアート作品（絵画）を売買・シェアできる WEB プラットフォームサービスです。

季節やイベントによって好みの作品を借りたり、レンタル体験後に気に入った作品を購入できたりするほか、購入した絵画の売却や貸出も可能です。 <https://artelier.co.jp/>

※本事業は、阪急阪神ホールディングスグループにおいて新規事業の

インキュベーション（育成）を行う株式会社ライフデザイン阪急阪神が行っています。

